

# 前歯部

## 6 前項の歯垢の付着状態を勘案した上で前歯部の歯肉の状態を診査する

0…異常なし

1…定期的観察が必要(GO)

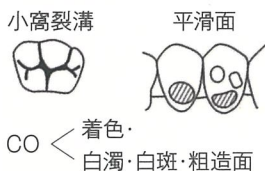


2…歯科医院での精査が必要(G)



歯石の付着はあるが歯肉炎はない者  
(その他の疾病および異常欄にZSと記入)

## 7 口を開けて歯の状態を診査する



要観察→CO  
要治療→C

異常なし→0

歯式

健全歯：斜線か連続横線で消す。癒合歯は2歯として扱う

むし歯：処置歯(O)修復が完了している歯  
：未処置歯(C)治療を要する歯。治療中の歯

喪失歯(△)：むし歯が原因で喪失した永久歯

要注意乳歯(X)：保存の適否を慎重に考慮する必要がある乳歯

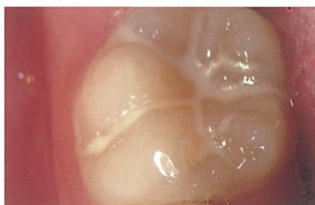
要観察歯(CO)：初期むし歯を疑わせる永久歯(乳歯にも適用可)。健全歯として扱う

シーラント処置歯(⊙)：健全歯として扱う

8112 8112 8112

※乳歯のサホライド塗布歯はう蝕の進行が認められれば(C)、進行が認められなければ(CO)とする

※CO(要相談)  
隣接面や修復物下部の着色変化、小窩裂溝の着色・白濁、平滑面の白濁・褐色斑が多数認められる場合等、歯科医院での精査が必要な場合該当する。所見欄にCO(要相談)と記入する。但し、視診で実質欠損が確認できなくともう蝕の可能性が濃厚であればCとする



シーラント処置歯(⊙)



要注意乳歯



CO



CO



COの多発→CO要相談



CO要相談(Cとの判断も可)



CO要相談(Cとの判断も可)

## 8 一連の流れの中で粘膜等その他の口の状態を診査する

(例) 軟組織の異常(上唇・舌小帯付着異常、粘液嚢胞、口内炎、口角炎)、硬組織の異常(中心結節、永久歯の萌出遅延・先天性欠如の疑い、エナメル質形成不全、過剰歯)等

## 9 児童生徒が抱えている問題や相談があればそれに応じる